

## 給食で「錦牛」すき焼き

### 秋田 小学生 笑顔でもぐもぐ



【笑顔で給食を食べる児童たち（秋田市の寺内小で）】

秋田市の寺内小、高清水小の2校で11日、県畜産農業協同組合が提供した県産ブランド和牛「秋田錦牛」を使ったすき焼きが給食で振る舞われた。

寺内小の5年1組では、すき焼きが入った大きな容器のふたが開けられ、甘辛い香りが教室中に漂うと、「いい匂いがす

る」と歓声が上がった。

児童たちは新型コロナウイルス対策で「黙食」だったが、すき焼きをほおぼると笑顔になっていた。佐々木漣君(11)は「肉が甘くて本当においしかった。家に帰ったら家族に自慢したい」と話していた。

地産地消を推進する目的で同組合は2014年度から毎年、市内の小学校に牛肉を提供している。秋田錦牛は10月に鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会」に出品されている。(令和4年11月15日(火)読売新聞より一部抜粋)